



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 ハリマ共和物産株式会社 上場取引所 東
コード番号 7444 URL <https://www.harimakb.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津田 信也
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 柳内 成弘 (TEL) 079-253-5217
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	31,645	2.8	924	△1.5	1,078	△3.3	713	△4.2
2023年3月期第2四半期	30,776	5.2	939	12.0	1,115	20.2	745	31.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 735百万円(36.6%) 2023年3月期第2四半期 538百万円(57.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	132.78	—
2023年3月期第2四半期	138.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	31,983	22,738	71.0
2023年3月期	31,353	22,222	70.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 22,707百万円 2023年3月期 22,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	41.00	41.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	41.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	3.1	1,900	6.9	2,100	4.3	1,470	5.7	273.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	5,441,568株	2023年3月期	5,441,568株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	67,347株	2023年3月期	67,347株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	5,374,221株	2023年3月期2Q	5,374,221株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが第5類となったことを受けて社会経済活動が正常化しつつある一方、円安や依然として不安定な国際情勢を背景とした資源インフレも継続し、先行きが不透明な状況が続いております。

当流通業界におきましては、新型コロナウイルスの感染を避けるための行動様式は一定維持されているものの、感染対策商品の荷動きは緩やかに低下し、一方で外出関連商材やインバウンド関連商材が回復しつつあります。しかし全般としてはインフレに伴う商品値上げへの警戒から、消費者の節約志向も依然として強く、引き続き今後の収益が見通しづらい状況となっております。

こうした状況下において、当社グループは卸売業の保有する商流・物流・商品開発・情報・金融など様々な機能を活かし、時代とともに変化する卸売業への要請に応えるべく、全社一丸となって取り組んでまいりました。中でも商流・物流のネットワークにおいては、取引先の要望にスピーディに対応できる体制を整えるとともに、商流・物流一体となった総合的な流通サービスの提案を推し進めてまいりました。また、新型コロナウイルスなどの感染症から従業員の安全を確保すべく、労働環境の整備や衛生管理を徹底し、卸売業としての社会的使命を継続して果たせる体制づくりを進めております。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は衛生用品や自宅で使用する日用消耗品の販売量は低下した一方で外出関連商品の販売が拡大し、31,645百万円(前年同期比2.8%増)となりました。利益面は、売上高の増加により売上総利益が拡大したものの、賃金の上昇や人材の積極採用による人件費の拡大、また物流センターの保守費用の増加もあって販管費が増加し、営業利益は924百万円(前年同期比1.5%減)、経常利益は1,078百万円(前年同期比3.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は713百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、31,983百万円(前連結会計年度末比630百万円増加)となりました。流動資産につきましては、19,381百万円(前連結会計年度末比767百万円増加)となりました。主な増減の要因としましては、商品が127百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が520百万円、現金及び預金が364百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産につきましては、12,601百万円(前連結会計年度末比137百万円減少)となりました。主な増減の要因としましては、投資その他の資産が52百万円増加したものの、有形固定資産が182百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、9,245百万円(前連結会計年度末比114百万円増加)となりました。流動負債につきましては、7,875百万円(前連結会計年度末比79百万円増加)となりました。主な増減の要因としましては、支払手形及び買掛金が270百万円減少したものの、短期借入金が130百万円、その他の流動負債が174百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債につきましては、1,369百万円(前連結会計年度末比35百万円増加)となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、22,738百万円(前連結会計年度末比515百万円増加)となりました。主な増減の要因としましては、利益剰余金が493百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ364百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には4,384百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。
(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は529百万円(前年同期比61.8%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,078百万円、減価償却費280百万円及び法人税等の支払額362百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は77百万円(前年同期比29.8%減)となりました。これは主に、保険積立金の解約による収入85百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出が118百万円、保険積立金の積立による支出が57百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は88百万円(前年同期比71.9%減)となりました。これは主に、配当金の支払額218百万円、短期借入金の純増加による収入130百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,180,884	4,544,933
受取手形及び売掛金	9,531,572	10,051,840
電子記録債権	1,162,972	1,205,501
商品	2,431,173	2,303,580
その他	1,307,752	1,276,094
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	18,614,355	19,381,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,404,411	2,321,698
土地	4,317,025	4,317,025
その他（純額）	1,837,368	1,737,495
有形固定資産合計	8,558,806	8,376,219
無形固定資産	106,841	99,595
投資その他の資産	4,073,609	4,125,961
固定資産合計	12,739,256	12,601,776
資産合計	31,353,611	31,983,726
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,521,241	5,250,316
短期借入金	190,000	320,000
未払法人税等	373,035	371,120
賞与引当金	60,964	108,488
その他	1,650,988	1,825,470
流動負債合計	7,796,230	7,875,397
固定負債		
役員退職慰労引当金	386,558	396,167
退職給付に係る負債	457,112	463,780
その他	490,747	509,906
固定負債合計	1,334,418	1,369,854
負債合計	9,130,649	9,245,251

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	719,530	719,530
資本剰余金	750,988	750,988
利益剰余金	19,989,521	20,482,787
自己株式	△58,125	△58,125
株主資本合計	21,401,914	21,895,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	855,435	875,253
土地再評価差額金	△62,642	△62,642
その他の包括利益累計額合計	792,793	812,610
非支配株主持分	28,255	30,683
純資産合計	22,222,962	22,738,474
負債純資産合計	31,353,611	31,983,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	30,776,617	31,645,670
売上原価	27,290,106	28,049,238
売上総利益	3,486,510	3,596,432
販売費及び一般管理費	2,547,297	2,671,580
営業利益	939,213	924,852
営業外収益		
受取利息及び配当金	28,611	27,978
業務受託手数料	21,023	21,141
保険解約返戻金	35,970	42,040
持分法による投資利益	24,313	4,001
為替差益	36,117	34,220
その他	30,642	24,718
営業外収益合計	176,678	154,100
営業外費用		
支払利息	708	315
その他	60	-
営業外費用合計	768	315
経常利益	1,115,123	1,078,637
特別利益		
固定資産売却益	29	-
特別利益合計	29	-
税金等調整前四半期純利益	1,115,153	1,078,637
法人税等	367,300	362,600
四半期純利益	747,853	716,037
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,736	2,428
親会社株主に帰属する四半期純利益	745,117	713,609

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	747,853	716,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△209,004	19,817
その他の包括利益合計	△209,004	19,817
四半期包括利益	538,849	735,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	536,113	733,427
非支配株主に係る四半期包括利益	2,736	2,428

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,115,153	1,078,637
減価償却費	268,349	280,320
賞与引当金の増減額 (△は減少)	56,492	47,524
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,298	9,609
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,756	6,667
受取利息及び受取配当金	△28,611	△27,978
支払利息	708	315
為替差損益 (△は益)	△36,117	△34,220
持分法による投資損益 (△は益)	△24,313	△4,001
固定資産売却損益 (△は益)	△29	-
売上債権の増減額 (△は増加)	772,891	△562,796
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△23,840	127,592
仕入債務の増減額 (△は減少)	△615,744	△270,924
未収入金の増減額 (△は増加)	79,755	85,537
前渡金の増減額 (△は増加)	176,086	△16,953
未払消費税等の増減額 (△は減少)	25,833	58,505
その他	△98,548	94,115
小計	1,684,118	871,951
利息及び配当金の受取額	20,872	20,663
利息の支払額	△709	△313
法人税等の支払額	△317,327	△362,397
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,386,954	529,903
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△128,135	△128,135
定期預金の払戻による収入	128,135	128,135
有形固定資産の取得による支出	△82,575	△118,548
有形固定資産の売却による収入	30	33
無形固定資産の取得による支出	△23,332	△13,506
投資有価証券の取得による支出	△3,475	△3,521
貸付金の回収による収入	576	105
保険積立金の積立による支出	△60,185	△57,216
保険積立金の解約による収入	100,260	85,226
差入保証金の差入による支出	△41,354	-
差入保証金の回収による収入	236	35,040
その他の支出	-	△4,693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△109,820	△77,081
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,010,000	2,400,000
短期借入金の返済による支出	△6,110,000	△2,270,000
配当金の支払額	△215,593	△218,773
財務活動によるキャッシュ・フロー	△315,593	△88,773
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	961,541	364,048
現金及び現金同等物の期首残高	2,845,403	4,020,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,806,944	4,384,369

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。